



水と緑 人のいきかう 高島市

広報 たかしま Takashima

2007
6.15
平成19年
No.45

●目次

- ②-④ タウンピックアップ
- ⑤ 防災・消防情報
- ⑥・⑦ みんなで子育て、親育ち！
地域で子育て、親育ち！
- ⑧・⑨ 介護保険・介護予防
- ⑩-⑬ 情報お知らせ版
- ⑭ 文化情報
- ⑮ 警察・交通事故発生状況
・消費生活相談
- ⑯ 輝け！おらが学校

感じますか？
みなぎる命

谷の傾斜に逆らわず、階段状につくられ、幾何学模様広がる359枚の棚田。農作業を通じて棚田保全の輪を広げようと、畑の棚田を守る会が「棚田オーナー」制度に取り組んでいます。当日は、県内外から約260人のオーナーさんが集結し、田植え作業に汗を流されました。秋には静かな山里が黄金色に変わります。

【5月13日 高島市畑「棚田オーナー・酒オーナー田植え作業」で】



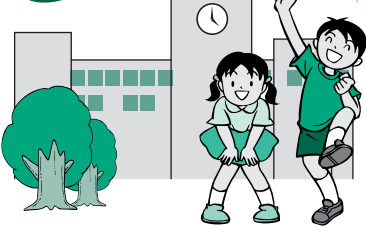
広報たかしま
(平成19年6月15日発行)

第45号

発行／高島市 編集／企画部秘書広報課
〒500-1601 滋賀県高島市新旭町北畑no.015番地 ☎0740(25)8130

http://www.city.takashima.shiga.jp
info@city.takashima.shiga.jp

輝け！ おらが学校



たいしやま
▶ 大師山さくら園

今回は教育委員会所管の大師山さくら園（幼児園）を紹介します。

平成15年に開園したさくら園。大師山が後ろにそびえ、園内には、小川（ピオトープ）が流れ、築山からは、新旭の街並みや遠くの伊吹山まで見渡せます。このように自然いっぱいの環境の中、園では、のびのび・がんばり・つながりを合言葉に、恵まれた自然環境を生かし、自然とのふれあいを通した遊びを大切にしています。

また、しなやかな心と体作りを大切に、リズム運動や食育などに取り組んでいます。

〇こんな事を体験しよう
体験から学びよう
「豊かな遊びや生活からの学び」「学びは体験から」と、豊かに体験する保育に努めています。例えば、周りの豊

かな環境も、体験や関わりがなければ、子どもたちの心には残らず、体験として積み重なりません。草花を手に取ってみて、初めて「いいにおいがする」「わあ、ジュースみたい」と、五感を通して、気づきが始まります。気づくことで興味がわき、遊びへの意欲へとつなげていきます。



▲おはなのこちそうづくり

こうして自分たちが進める遊び(草花を使った色水あそび・こちそうづくりなど)に子どもたちは、夢中になっていきます。「これなんだろう」と不思議に思い、調べようとする探究心や、繰り返し遊びこむ楽しさ、友だちと力をあわせたり、うまくいかなかったり、友だちといざこざが起った時の葛藤やつまずきなど、さまざまな体験

〇しなやかな心と体をつくらう
生活習慣が身に付いてくることで、安定した生活を送れるようになり、「自分でできる」という自信をつけます。

また、リズム運動や、はだし保育など毎日継続する中で、たくましく、しなやかな体を作ります。

食育教室では、夏野菜や冬野菜などの栽培活動から収穫、料理をするなど、いろいろな保育ボランティアさん力を借りしながら体験しています。



▲やさいのお料理

〇ともだちとつながろう
友だちや先生、いろいろな人と出会い関わり、生活や遊びをともにする中で、少しずつ相手の思いに気付いたり葛藤したり、刺激を受けながら、一人ひとりが自分の思いを出し、みんなと一緒にいることが楽しいと心から思える関係作りをしていきたいと考えています。そして、「さくらえんだいすき」とみんなが言える園作りを目指しています。

★今月の男女共同参画啓発標語・川柳③

優秀賞

「男女共同参画社会づくり」の取り組みの一環として、昨年10月に募集した標語・川柳の中から、優秀作品を毎月1作品ご紹介しています。

「参観日 いつも来るのは 母ばかり」

西川 友萌 (高島市城山台)



古紙/UV配合率100%再生紙を使用。大豆インクを使用しています。